



エコアクション21

環境経営レポート

2020 年度

2020.4-2021.3

(作成日：2021 年 5 月 29 日)

エコアクション 21

認証・登録番号 0003386

株式会社 第一産業

目次

〔1〕 対象範囲	3
〔2〕 組織の概要・実施体制	3～4
〔3〕 環境経営方針	5
〔4〕 環境経営目標	6
〔5〕 環境経営計画	7
〔6〕 環境経営目標の実績	8
〔7〕 環境経営計画の取組結果とその評価	9
〔8〕 次年度の取組内容	10
〔9〕 環境関連法規等の遵守状況の 確認及び評価の結果、並びに違反、 訴訟等の有無	11
〔10〕 代表者による全体評価と 見直しの結果	12
〔11〕 認証13年継続にあたり	13

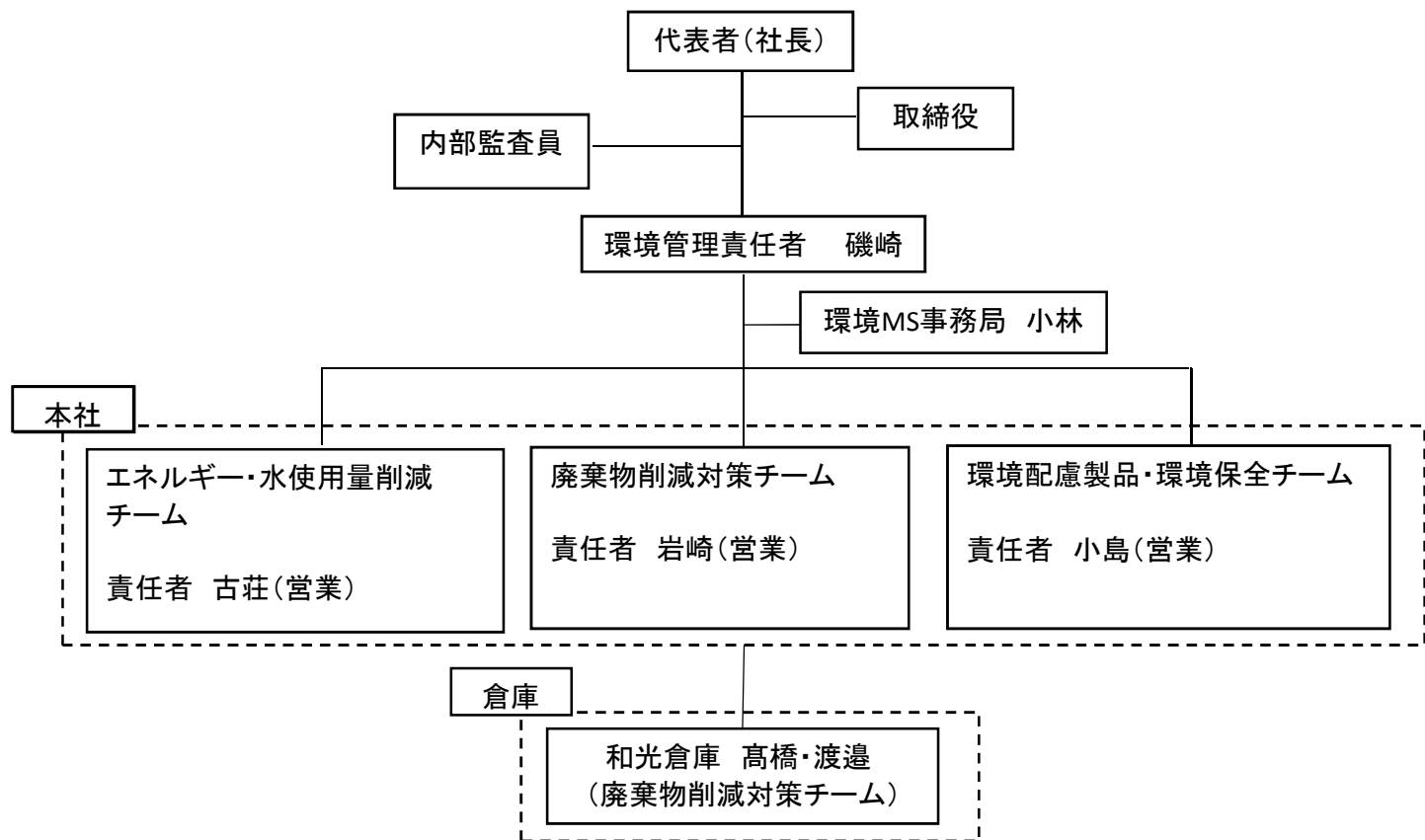
1. 対象範囲

認証・登録事業者 株式会社第一産業
東京都板橋区成増 1－7－2 1
認証・登録の 包装資材及び諸資材の企画、設計（提案）、制作
対象活動範囲 販売
対象事業所 本社
和光倉庫
全組織・全活動を認証・登録の対象範囲とする

2. 組織の概要

事業社名及び代表者名
株式会社第一産業
代表取締役 長谷川二郎
所在地
東京都板橋区成増 1 丁目 7 番 2 1 号
TEL 03－3938－7711
FAX 03－3938－7720
環境管理責任者氏名及び連絡先
磯崎 孝 TEL 03－3938－7711
事業内容 包装資材及び諸資材の企画、設計（提案）、制作、販売
事業の規模
資本金 28,000 千円
創立年月日 昭和 31 年 1 月 29 日
売上高 9 億 9,926 万円
従業員 21 名（内、和光倉庫 2 名）
本社
所在地
東京都板橋区成増 1 丁目 7 番 2 1 号
延床面積 853.75 m²（内、和光倉庫 476.00 m²）
敷地面積 667.64 m²（内、和光倉庫 441.07 m²）
和光倉庫
所在地
埼玉県和光市南 1 丁目 13 番 5 号（和光倉庫）

環境管理実施体制図及び実施体制



役割・責任・権限

代表者(社長)	・環境方針を策定する ・環境管理責任者を任命する ・代表者による全体の評価と見直し ・環境目標の承認・内部監査の任命 ・経営における課題とチャンスの整理と明確化
取締役	・社長と連携 必要があれば社長の代行を行う
環境管理責任者	・環境経営システムを構築、運用、維持し状況等を報告する ・外部からの苦情等の受付や対応 ・緊急事態への対応 ・環境目標、活動計画の作成 承認を得た上で実施を支持する ・法令等の遵守状況の確認をMS事務局に指示、結果の報告を受け必要に応じて各部門に指示する ・法令等の遵守状況の確認結果を代表者に報告する ・内部監査による指摘事項の対応
環境MS事務局	・環境管理責任者から、必要に応じて支持を受け、環境関連文書及び記録の作成、管理等 ・環境目標、活動計画の達成状況及び実施状況の確認 ・環境管理責任者の指示を受けて、法令等の遵守状況を各部門と協力し結果を報告する ・環境活動レポートの作成
内部監査員	・EA21の要求事項並びに環境活動レポート作成基準がまもられているか確認 ・環境方針、環境目標、活動計画がまもられているか確認 ・監査の結果を代表者(社長)、環境管理責任者、各責任者に報告する
各担当責任者 (和光倉庫を含む)	・それぞれの担当を収集して環境目標の素案及び環境活動計画 ・承認を得た環境目標及び環境活動計画を実施する ・問題発生時並びに問題の発生が予見された場合、環境管理責任者への報告・連絡・相談をする
全従業員	・環境方針、環境目標、活動計画への理解並びに実行 ・日常業務に対する個人個人の責任を自覚してEMS活動に取り組む ・問題発生時並びに問題の発生が予見された場合、担当責任者への報告・連絡・相談をする

3. 環境経営方針

1. 基本理念

当社は創業以来 包装梱包に関する仕事を社業としてきました。現状は集約され「包装資材及び諸資材の企画設計（提案）による制作販売」を主とする仕事を社業としています。提供する製品及びサービスを通じ社会に貢献することを目指しています。

2. 基本方針

1. 当社は 取扱品や業務上の行動や備品設備等 全ての企業活動の面で 出来る限り環境保全が 確保され推進されるように努めます。

- ① 当社の行う事業活動及び 製品に係わる環境負荷を低減し 環境に配慮した事業活動を行うと共に 省エネ啓発活動など 環境貢献に努める
- ② 二酸化炭素排出の削減 電力使用量及び石油起源エネルギー使用量の削減をする
- ③ 水資源の使用量削減をする
- ④ 廃棄物の削減をする
- ⑤ 環境意識向上の推進をする

2. 当社は 環境に関する 法的及び当社が同意するその他の要求事項を確実に遵守して 環境保全に努めます。

3. 当社は 社内の会議や打ち合わせ等の会合で 全従業員に上記 2 項目について 内容が認識され実行されるように努めます。

4. 経営環境の継続的改善を推進します。

2021年2月10日

株式会社 第一産業
代表取締役 長谷川 二郎

4. 環境経営目標

基準年 (2017 年)	排出係数	2020 年度 基準年比-1.5%	2021 年度 基準年比-1.5%	2022 年度 基準年比-1.5%
温室効果ガス排出量 (kg-CO2) (56,200)	0.442kg-CO2/kWh	55,357	55,357	55,357
電気使用量の削減 (kWh) (21,704)		21,378	21,378	21,378
ガス使用量の削減 (m³) (723)	2.16kg-CO2/m³	712	712	712
ガソリン使用量 (L) (19,416)	2.32kg-CO2/L	19,125	19,125	19,125
水使用量 (m³) (維持管理) (227)		227	227	227
紙資源の削減 (kg) (640)		630	630	630
廃棄物の削減 (kg) (維持管理) (1,000)		1,000	1,000	1,000

電力の CO2 排出係数は、東京電力(令和 1 年度実績)調整後排出係数 0.442kg-CO2/kWh を使用した。

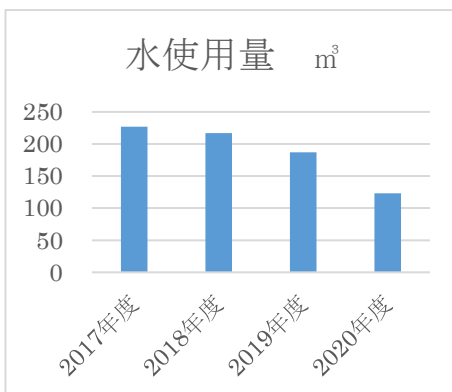
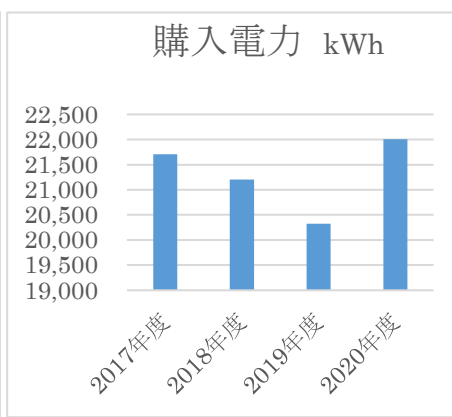
5. 環境経営計画

環境経営目標	取 組	具体的な施策
事業計画及び製品に係わる環境負荷を低減する	・商品知識を高め、簡素化した仕様の提案や小型化による輸送コストの削減を行う ・リサイクル可能な梱包資材や廃棄梱包材を減らす製品の提案をする ・図面管理台帳を活用し、発注ミスを防ぐ ・仕入先からの新商品案内の回覧やネットなどで積極的に情報収集を行い、商品知識を高める ・容器包装ポジティブリストの作成など、新たな規制等の情報を把握し、早急な対応に努める	・梱包形態の変更による輸送コストの削減を提案 ・プラスチックから環境配慮型の製品への切替えを行った ・校了印を保管しメーカー、お客様と共用し都度確認する事でミスを最小限に抑える ・従業員による段ボール、ポリ、ラミネートの勉強会を実施 ・メーカーと協力しポジティブリストや含有調査などの依頼に早急に対応
二酸化炭素排出の削減、電力使用量及び石油起源エネルギー使用量の削減	・コロナウィルス感染拡大防止の為、換気を行いながら設定温度を管理する ・無駄な電気は消す ・照明のLED化推進 ・エコカーへの切替え推進 ・不要なガスの使用と換気を行う	・コロナウィルス感染拡大防止の観点から常に換気を行い、エアコンの温度設定を適正に管理した ・3階打合せ室は使用時以外、電気、エアコンのスイッチを切る ・パソコンは常に省エネモードに設定し、LEDへの切替えの検討を具体的に進める ・ガストーブは感染対策で換気を行い温度管理する ・都度沸かすポットに切替える ・車は定期点検、アイドリング等に気を付ける
水使用量の削減	・コロナウィルス感染拡大防止の為、手洗い等の使用が増えるが他の使用を抑える	・蛇口の締め忘れを徹底する ・水漏れが無いよう定期的に確認する
廃棄物の削減	・リサイクルに関しての新しい技術や、新しい取り組み方法等について情報収集し発信していく ・新しい人達にもリサイクル回収している事を伝える ・消耗品の購入の際、FSC認定製品・グリーン商品・詰替品を利用するよう心掛ける ・ペーパーレス化に向けて、システムを見直す際に検討する	・海洋プラスチック問題等社会問題になっている内容を社内研修で発表 ・社内周知 ・消耗品購入時FSC、グリーン商品を選択基準にした ・システムを見直す提案 ・CSV出力を追加し印刷物を僅かながら減少
環境保全意識の向上	・社会貢献活動 ・環境保全の意識向上と活動を進める ・社内の整理・清掃の徹底	・AEDの管理を行う ・社内研修で意識向上を推進する ・会社回りの美化に努める

6. 環境経営目標の実績

項 目		単位	2018 年度 実績	2019 年度 実績	2020 年度 実績	2020 年度 目標	評価
			2018. 4～ 2019. 3	2019. 4～ 2020. 3	2020. 4～ 2021. 3	2020. 4～ 2021. 3	
温室効果ガス排出量		kg-CO ₂	57,488	57,910	54,418	55,357	○
総エネルギー投入量	購入電力	kWh	21,205	20,324	22,009	21,378	×
	都市ガス	m ³	513	662	499	712	○
	ガソリン	L	19,609	20,358	18,798	19,125	○
水資源	上水	m ³	217	187	123	227	○
廃棄物等総排出量	可燃ごみ	kg	503	-	-	-	-
	不燃ごみ	kg	22.0	-	-	-	-
	産業廃棄物	t	0.91	3.62	2.16	1.00	×
排出量	下水道	m ³	217	187	123	227	○
資源投入量	事務用コピー用紙等	kg	580	655	800	630	×

※可燃・不燃は途中から定額制の為比較方法を袋単位で検討中



7. 環境経営計画の取組結果とその評価

1. 事業活動及び、製品に係わる環境負荷の低減について

- ・梱包形態の変更による輸送コストの削減を提案した。
- ・プラスチックから環境配慮型の製品への切替えを行う。
- ・校了印を保管しメーカー、お客様と共用し都度確認する事でミスを最小限にした。
- ・従業員による段ボール、ポリ、ラミネートの勉強会を実施。
- ・メーカーと協力し、ポジティブリストや含有調査などの依頼に早急に対応した。

2. 二酸化炭素・電力使用量及びエネルギー使用量削減・水資源削減について

- ・コロナウィルス感染拡大防止の観点から常に換気を行った。
- ・3階打合せ室は、使用時以外は電気、エアコンのスイッチをけした。
- ・パソコンは常に省エネモード設定をした。
- ・LEDへの切替えの検討を具体的に進める。
- ・感染対策で換気を行った中でも温度管理が出来た。
- ・お湯の使用量が減ったので、ポットを都度沸かすタイプに切替えた。
- ・ガスストーブは事務所に人がいない時は消すよう徹底した。
- ・車両は定期点検を行い、無駄のない利用に心掛ける
- ・車のアイドリングをしない、急ブレーキをしないよう個々に取り組めた。

3. 水使用量の削減について

- ・蛇口の閉め忘れのないよう個々で徹底を行った。
- ・水漏れ等が無いかな定期的に確認を行った。

4. 廃棄物の削減

- ・海洋プラスチック問題等社会問題になっている内容を社内研修で発表した。
- ・社内周知の徹底を行った。
- ・消耗品購入時、FSC 認定製品、グリーン商品を選択の基準にした。

5. 紙資源の削減

- ・システムを見直す提案を行った。
- ・CSV出力を追加したことで印刷物を僅かながら削減する事が出来た。

6. 環境保全意識の向上

- ・AEDの管理をする。
- ・各チームが講師になり、研修を行った。
- ・社内の整理清掃し、会社の周りの清掃に努めた。

8. 次年度の取組内容

1. 事業活動及び、製品に係わる環境負荷を低減する

- ・包装簡素化や環境配慮型の製品提案をする。
- ・リサイクル可能な梱包資材の提案をする。
- ・新規、改版などは図面を保管しシステム登録を速やかに行う。
- ・展示会やオンライン勉強会への参加やメーカーによる講習会を実施する。
- ・環境対応製品や新たな規制等の情報を把握し、お客様に対応する。

2. 二酸化炭素排出の削減、電力使用量及び石油起源エネルギー使用量の削減

- ・適正温度管理の徹底をする。
- ・夏場の日差しの侵入対策や冬場の断熱シートの貼り付け等、熱のロス対策を行う。
- ・3階の各部屋の電気、エアコンは消し忘れが無いよう徹底する。
- ・引き続きパソコンは常時、省エネモードにする。
- ・LED電気の切替えを行う。
- ・換気を行った中での適正温度管理を徹底する。
- ・ガストーブの使用は温度管理を行い、適正な時のみ使用するよう管理する。
- ・エコカーへの切替えを検討する。
- ・個々でより安全運転を心掛けるよう、意識を共有できる機会を設ける。

3. 水の使用量削減

- ・蛇口の閉め忘れが無いよう、引き続き徹底する。
- ・水の適正使用量を再確認する。
- ・トイレの水利用は適正範囲内を心掛ける。
- ・水漏れ等のトラブルが起きないように日頃より点検を行う。

4. 廃棄物の削減

- ・個人使用のペットボトルや容器は持ち帰り処分する、バイオプラの情報収集していく。
- ・消耗品の購入の際、グリーン購入法適合マークやエコマークの付いたものを購入する。

5. 紙資源の削減

- ・ペーパーレス化に向けてシステムを見直したが更に検討していく。

6. 環境保全の意識の向上

- ・引き続きペットボトルの回収、AEDの管理を行う。
- ・次年度も環境関連の研修を行う。
- ・サンプル等デスク周りの整理整頓に努める。
- ・会社周りの美化に努める。

9. 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

株式会社第一産業

2021年6月2日

法規制	遵守事項	状況・規制値及び測定器	管理方法	担当	評価	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 東京都環境確保条例	①委託契約	・締結	期限常時	廃棄物削減チーム	○	①収集運搬、中間処分
	②マニフェスト管理	・専用ファイルに保存管理	期限常時		○	②専用ファイルに保存
	③廃棄物表示管理	・廃棄物表示、管理	期限常時		○	③廃棄物表示
	④廃棄物分別管理	・廃棄物分別、管理	期限常時		○	④廃棄物分別
	産業廃棄物排出量の届出(埼玉県へ提出)	・指定様式	期限常時	MS事務局	○	埼玉県提出
板橋区事業系一般廃棄物の処理	板橋区長が許可した一般廃棄物処理業者への処理委託	・適正な分別	期限常時	廃棄物削減チーム	○	適正処理と費用
PRTR法	適正化学物質管理	EU RoHS指令等 MSDS入手	要求の都度	環境配慮チーム	○	遵守した
容器包装リサイクル法	①取引先より注文や見積時に紙製品(ダンボール等)及び化成製品等を無駄のないように設計する	・研修会等で再生容器の知識を高める	期限常時	環境配慮チーム	○	①製品にあった設計を実行している
	②繰り返し使える容器を提案する		期限常時		○	②リサイクルし易い素材の提案に努めている
自動車リサイクル法	①自動車の長期利用	・車検等による検査	期限常時	エネルギー削減チーム	○	①車検等検査にて長期利用を続行
	②使用済み自動車の引渡し	・故障箇所の点検	期限常時		○	②使用済み自動車は新車購入時下取り
	③再資源化促進 引渡し業者へ	・リサイクル料の負担	期限常時		○	③廃車の時はリサイクル負担
都民の健康と安全を確保する環境に関する条例	・アイドリングストップ	・駐車場にアイドリングストップ表示・駐車時エンジン停止	常時監視	エネルギー削減チーム	○	①駐車場のアイドリングストップの表示②駐車時にエンジン停止続行、取引先に監視をお願い続行、全従業員に各々注意する③エコドライブを心がけている
	・エコドライブ	・適切な運転及び適正な管理	常時監視		○	
消防法	・火災予防条例	・消防器具の設置 ・喫煙所設置	消防器具の点検 喫煙所監視	環境配慮チーム	○	①消火器を設置している ②火災報知機を設置している ③喫煙場所を指定している
労働安全衛生法	・健康診断の実施	・従業員全体の健康診断の結果により指導する	年1回	代表者	○	年1回実施
	・ストレスチェック	・チェックテストを用い把握する	3か月に1回		○	各自実施
家電リサイクル法	・OA機器(パソコン・ファックス・コピー機等)冷蔵庫・エアコン等は排出の際適正処理する	・買い換えの時は購入業者へ廃棄の時は東京都或いは藤ビルメンテナンスにて処理をする	期限 処理発生時	廃棄物削減チーム	○	リサイクル業者にて引取
下水道法	・排出基準流量	50m ³ 以下/月		エネルギー削減チーム	○	・排水の管理を徹底している ・水質規制を遵守している
エコポリス板橋クリーン条例	・事業者の責務として、環境に配慮した事業活動を行い、区が実施する環境保全に関する施策や、環境美化に関する施策に協力しなければならない	・特にない	期限 常時監視	廃棄物削減チーム	○	・廃棄物の削減 ・煙草のポイ捨てをしない
和光市環境基本条例	・事業者の責務として、市が定める環境理念に則り事業活動を行うこと	・特にない		廃棄物削減チーム	○	・廃棄物の削減 ・電力使用量の削減
	・事業活動を行うに当たっては、公害の発生を防止し、廃棄物を適正に処理する事。					
	・再生資源その他の環境への負荷の低減に資する原材料、役務等を利用するように努めなければならない					
グリーン購入法	物品購入時はできる限り環境物品等の選択に努める	・特にない	購入都度	廃棄物削減チーム	○	・積極的に購入している
フロン排出抑制法	・簡易点検	・点検の記録	四半期ごと	取締役	○	・年4回実施
違反・訴訟の有無	環境関連法規及び条例への違反は有りません。なお、関係機関より違反等の指摘、訴訟は過去3年間ありません。					

10. 代表者による全体評価と見直しの結果

代表取締役：長谷川 二郎

令和 3 年 6 月 9 日

2021 年度の目標の取組みについて

達成率・・・未達成 2 か所 産業廃棄物、事務用品コピー用紙、産業廃棄物、PC システム入替によりパソコン、プリンターの廃棄物及び得意先売上げ済預り在庫品の処分有り 3 社で PE フィルム及び段ボール等で約 1,000 kg となり、何れも発生時に承認した物である。以後預り品発生時に注意する事を申し渡した。

事務用コピー用紙の増は入替時にコピー用紙重複により発生したもので納得しています。全体的に目標は達成したものと思います。

2020 年度は新型コロナウイルス感染が蔓延し環境が一変し経営営業方針、社内環境も変えざるを得ない状況となった。

此の様な状況のなかでの世界各国の環境問題は地球環境温暖化に対し改善せざる得なくなり、EU においては 2050 年迄に温室ガス 0 % と発表し我が国においても 2030 年度迄に 50 % 削減と世界全体で環境に対し大きく関心を持つようになった。

当社としては各種包装資材を扱う企業として、如何に環境に優しい商品を得意先に提供出来るか常に念頭に置く事。

コロナに気を付けながら省エネ、省資源に日頃より取り組んで来ていますがマンネリにならない様、尚一層関心を持つ事です。

失敗に恐れず積極的に取り組み前進して行きましょう。

11. 認証13年継続にあたり

当社は、エコアクション21の認証から2020年度で13年を迎えました。

認証当初より、CO2削減に力を入れて参りました。温室効果ガス排出量に関しては**30.58%**の削減をしました。この数字は、2017年7月に地球温暖化対策推進本部に国連気候変動枠組条約事務局に提出された、我が国の約束案、2030年度に2013年比▲26.0%だったのが4月に▲46.0%に修正され、当社はこの目標値を下回っています。EA21の取組を更に意識する事が大事だと改めて認識しました。

代表者の環境への方針と、従業員一人一人の環境への取組が大きな成果を生んだものです。これからも、さらに広い視点で環境活動に、全社あげて取り組んで行きたいと思えます。

2008年度と2020年度の実績

	単位	2008年度	2020年度	削減率
温室効果ガス排出量	kg-CO2	78,386	54,418	30.58 %
購入電力	kWh	29,188	22,009	24.6 %
都市ガス	m ³	879	499	43.2 %
ガソリン	L	26,681	18,798	29.5 %
水使用量	m ³	336	123	63.4 %

開始当初2008年度と2020年度の比較

